

自立支援協議会における評価根拠

- 自立支援協議会における主な機能の1つに「評価機能」があり、下記について評価を行うことが規定されている。【厚生労働省 障発0328第8号より】

- (1) 基幹相談支援センターの事業実績の検証
- (2) 市から障害者相談支援事業の委託を受ける事業者が作成する事業運営等の評価

- また、基幹相談支援センター、ふれあい相談室、ハートオン相談室(身体・知的・精神)は国・県補助金の対象事業となっており、補助金の実施要綱である「地域生活支援事業実施要綱」において、自立支援協議会における事業内容評価が規定されている。

【地域生活支援事業実施要綱 別添1 障害者相談支援事業】

指定特定相談支援事業者又は指定一般相談支援事業者に委託する場合には、事業運営の中立性・公平性を確保する観点から、市町村が設置する自立支援協議会において、委託事業者の事業計画等について、事業評価を行う等の措置を講ずることが適当である。

【地域生活支援事業実施要綱 別添2 基幹相談支援センター】

市町村は、基幹相談支援センターを設置又は委託するに当たっては、協議会等において、設置方法や実施する事業内容の事業の実績の検証等を行うこと。

1. 自己評価

次期: 6月10日(月)～26日(水)

対象: 基幹相談支援センターCoCo、ふれあい相談室、ハートオン相談室(3事業所)、サポートセンター沼南

内容: 評価項目ごとに4段階の自己評価を行うと共に、詳細を記載する。

2. 書類審査

次期: 7月3日(水)～9日(火)

内容: 自己評価結果を各委員へ郵送。書類審査を行う。

評価者: 地域自立支援協議会評価担当委員5名、障害福祉課(課長、支援班、事業庶務班)

3. 評価会(ヒアリング審査)

次期: 7月10日(水)

内容: 自己評価結果の正しさの検証や、書類審査を補完するために各事業所からヒアリング審査を行う。

評価者: 書類審査と同様

場所: サポートセンター沼南

4. 地域自立支援協議会(評価の確定)

日にち: 8月7日(水)

内容: 地域自立支援協議会評価担当委員、行政職員による評価結果をベースとして審議した上で最終的な評価を確定する。

1. サポートセンター沼南施設内見学 9:30～10:00

2. 相談支援体制について 10:00～10:20

松戸市より委託事業所の設置経緯、役割、平成30年度の委託内容等説明

3. プレゼン、質疑応答 10:20～11:30

平成30年度事業において、力を入れた取組みや意識した点についてプレゼン(各事業所3分程度)

審査にあたって、書類だけでは不足する点等の質疑応答(各事業所10分程度)

4. 評価

7月16日(火)までに評価を提出(当日提出も可)

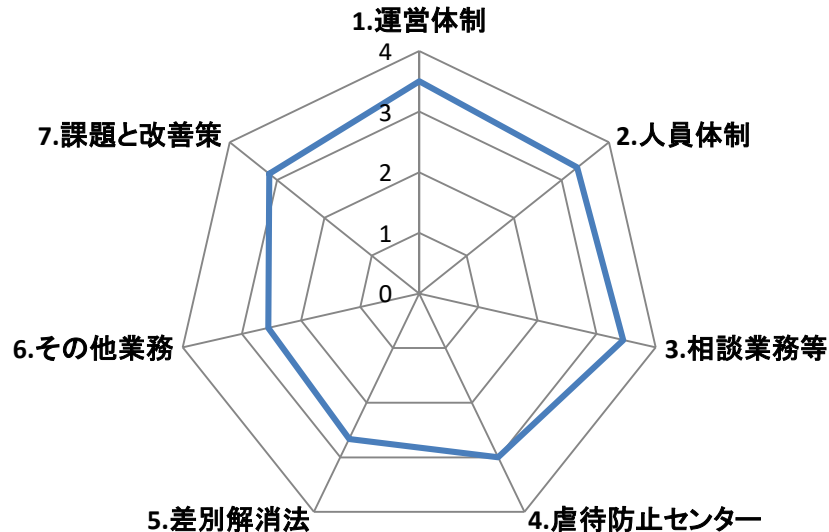
※できる限り評価した点、改善すべき点の記述をお願いいたします

評価担当者に偏りが出ないように、自立支援協議会の選出区分ごとに毎年度1名ずつ選出し、5～6名とする。

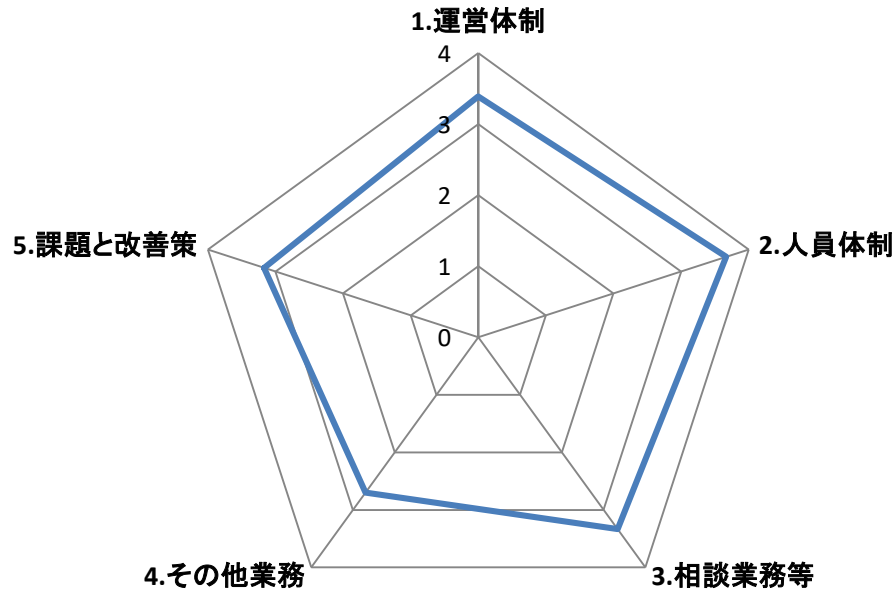
評価担当者

自立支援協議会委員

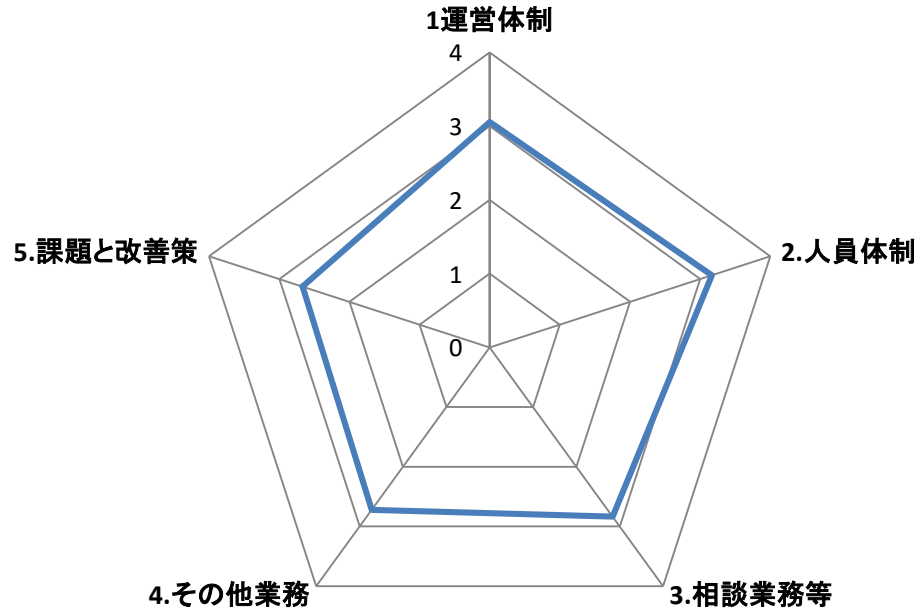
1. 【当事者】(特非)松戸市障害者団体連絡協議会 理事 荻野 正美 氏
2. 【障害福祉サービス事業所】(社福)彩会 理事長 平山 隆 氏
3. 【教育・雇用】県立松戸特別支援学校 教頭 小柴 明人 氏
4. 【関係機関】(社福)松戸市社会福祉協議会 主任 米持 和幸 氏
5. 【部会長】(社福)実のりの会 ビック・ハート松戸 センター長 古川 亮 氏
6. 【行政】課長、支援班、事業庶務班職員



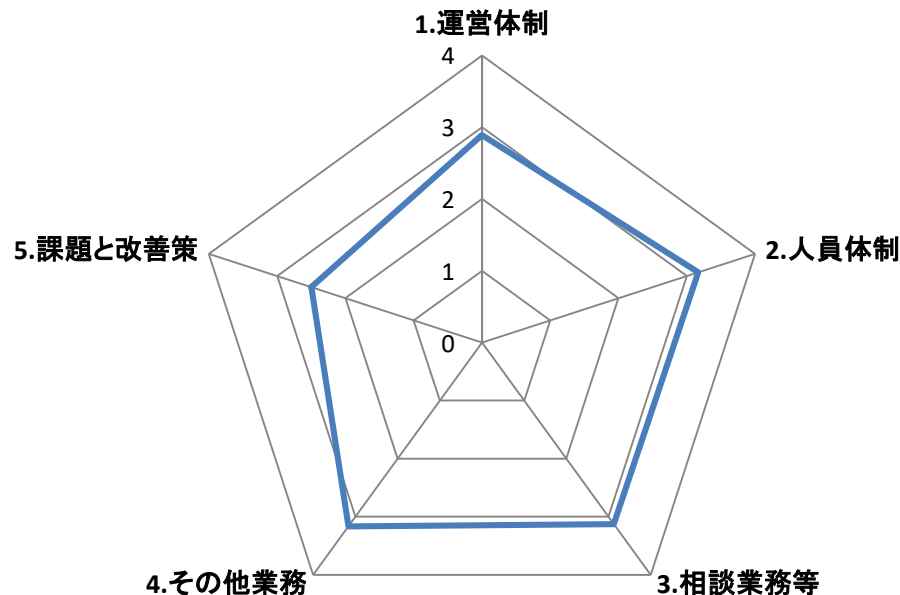
- (1) ◎土日の対応と時間も含めて柔軟に対応している。広報紙やパンフレット等、周知に力を入れている。
△記録等の廃棄方法については、どのように行っていくのかを決めておく方が望ましいと思います。
- (2) ◎スタッフが自己判断しないように、会議で共通理解は素晴らしいと思います。
△難病、医ケア、高次脳の専門知識が少ないとのことでしたが、今後期待します。
- (3) ◎相談内容が多岐にわたっており、関係機関とのネットワークは大切！よくやっています。
相談支援専門員対象の研修や、地域包括支援センター・親子すこやかセンターとの連携体制の構築など、明確な目的と計画性をもって事業を行っている。
△充分取り組んでいますが、可能な限り現場をしっかりと見てほしい。
- (4) ◎施設従事者からの虐待通報が年々増えているので、研修などで注意喚起をしていることを評価。
△職員全体の虐待対応に係るノウハウ共有には一定の改善が見られるため、さらなる知識・実務能力の向上と平準化を進められたい。
より迅速に対応できるよう職員体制を整え、質・量ともに充実した虐待対応を今後も目指していただきたい。
- (5) ◎差別ケースの件数が少なかったことは何より、少ないのは周知徹底が進んでいるという捉え方もできるし、これまでの啓発活動等の効果も出ていると捉えることもできると思います。
△相談件数のみでは事業の判断はできないが、件数が減少していることについて分析が必要かと思う。
- (6) ◎地域移行・地域定着について、ねばり強く対応している点を大いに評価した。
△セルフプランから計画相談に繋がってほしい。
- (7) ◎事業所内でも課題が共有化されている様子。ひとつひとつ改善に向けて取り組んでほしい。
△すべての面において高水準を求められるので、支援員は大変だと思います。職員のメンタルヘルスにも重点を置いて、いつも同じ顔がいて安心できる基幹として存在し続けられるよう期待しています。



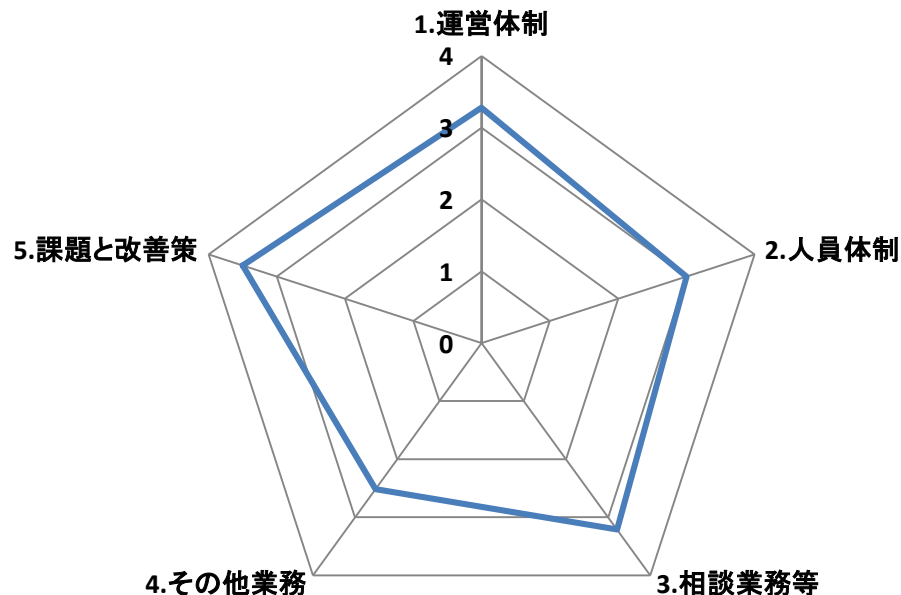
- (1) ◎利用者は相談員さんにほぼ全てを見せているので個人情報の管理が徹底されているのは安心。
△もっと外部に向けアピールを！
- (2) ◎定期的な研修を行っている点と外部の研修にも参加し、スキルアップに努めている点と職員が悩み等を抱え込まないような手立てを講じている。職員のフォローアップ体制を継続してほしいです。
- (3) ◎総合相談の役割を自覚し、他機関とも連携し取り組んでいる
△各部会での役割やニーズの把握をしっかり取り組んでほしい。
- (4) ◎独自事業として社会保険労務士との関わりと発達障害者の当事者会を継続して行えている。
△認定調査、困難ケースのサービス等利用計画の作成依頼件数が少なく評価が困難
- (5) ◎障害分野以外との連携が急増している点は評価できる。今後も、より多くの役割を担うこととなると思われる。
△立地がいい障害者は慣れている場所なので気軽に立ち寄れたらよいと思う



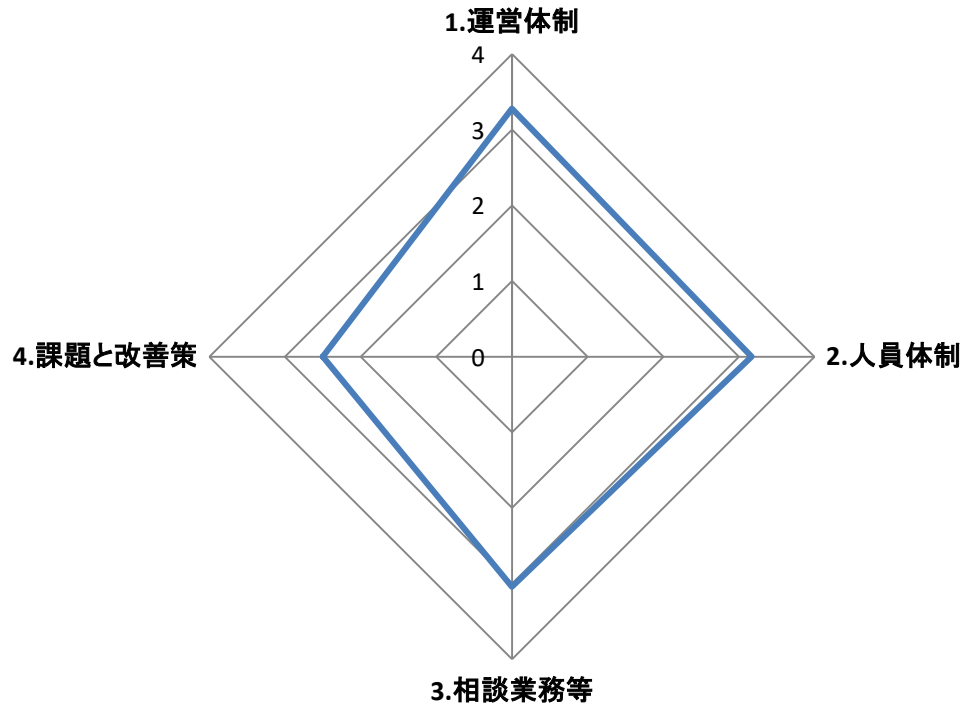
- (1) △廃棄方法については、どのように行っていくのかを決めておく方が望ましいと思います。
- (2) ◎毎月1回の研修については、支援員のスキルアップのためには欠かせないので、実施している点を評価。
- (3) ◎計画相談支援事業所へのサポートについて、介護保険関係は必要とされていると思われる。
△退院後の相談が多いことは想像通り。そこからの分析や工夫点の記載がないと専門性を図ることが出来ないので、自己評価欄をもっと活用してもらいたい。
- (4) ◎認定調査の実施率93%という実績を評価。
- (5) ◎適切に課題を把握している。
(H31からの相談支援体制については、行政と綿密に連携しながら、内部体制を整える必要がある。)
△指定事業所の役割を再認識し、取り組んでほしい。



- (1) △周知等、引き続き取り組む必要がある。
- (2) ◎他機関の研修に多数参加している。
△どうしても法人内の利用者、仕事に偏りがちですので人員体制含め見直しをしてほしい。
- (3) ◎相談があった際には、利用者の意思決定にも配慮しつつアセスメントと見立て・調整を十分に行っており、その上で、調整の進捗状況に応じて他事業所への引継ぎも視野に入れた対応を行っている。
△自己選択？意思尊重？等難しい面が多々ありますが研修しスキルアップを図りたいですね。
- (4) ◎認定調査依頼について、必要な数を実施できている。
△地域移行、定着支援は難しいですね。本人の拒否や受け入れ側の意向もあり大変ですが、選択肢の幅を拡げ対応していきたいですね。
- (5) ◎困難ケースの捉え方も事業所によって違いがあると思います。各事業所の強みや弱み等の分析も兼ねて再確認は必要と思います。
△運営の中で把握された諸問題に対して、事業所単位で実施可能な具体的改善策についても、提案と取組みを進めていただきたい。



- (1) ◎転送電話の対応で緊急時等も対応している。
- (2) ◎職員が分担して研修に参加するのは良いと思います。
- (3) ◎対面における相談だけでなく電話やメール対応を数多くしている点では、記録作成も含めて大変苦慮されていると思います。
- (4) ◎医療機関と連携しながら、地域移行・定着支援に数多く取り組んでいる。
△市からの依頼件数が0件であったのは、特に負担が大きい精神障害者支援を確実・適切にこなしてもらうため。
これまで同様、今後もそちらへ注力していただきたい。
- (5) ◎相談件数が増えている状況もあるので、相談員の養成についてはきちんと取り組んでもらいたいと思います。
△個々の事業所だけで抱えるのではなく松戸市全体での体制づくりが必要ですね。



- (1) ◎ 夜間・休日・緊急用電話も設置している点と職員の負担軽減や瞬時に利用者の状況を把握できるように整備している。
- (2) ◎ 県内の研修にとどまらず、外部研修に多数参加していて、他県や他事業所との関わりも重視している。
- (3) 各事業所への訪問よくやっています。会議も工夫されていますね。
- (4) ◎ 全体的に、枠にとらわれず現実的な対応をしているところを評価します。
△ 赤字事業、大きな課題です。皆で改善策を見出していきたいですね。